



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆

希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和7年7月1日 NO.4

042-541-2940

創立46年目(昭和55年開校)

実力と自信



校長 前川 法彦

「自信をもとう」というのはよく聞く言葉です。いろいろな伝記を読んでいると、「自信があったから成功できた」ということがよく書いてあります。言葉の通りであれば、自分を信じる強い気持ちがあれば、誰でも大きな成功を収められるように受け取ってしまいそうです。近年、様々な雑誌や SNS でも、自信さえあれば成功するような書き方をしています。例えば、「自信さえあれば、どんな目標も達成することができる。自信があれば、人生の問題はすべて解決できる。」「自信のある人は、自信のない人に比べて成功する確率が10倍高くなる」などです。このような言葉は、3つのことに気を付けるといいかもしれません。

1つめは、自信を高めるのは簡単ではないことで、もし簡単であれば、誰も自信のなさに悩んだりはしないのではないのでしょうか。

2つめは、安易に自信を高めることができても、それで成功につなげるには難しく、例えば大リーグ選手でも高い実力や他にはない才能をもっていますが、それを上回る努力があつての自信なのです。

3つめは、自信さえあれば何でも達成できると思ってしまうことや誰でも自信をつけて成功するような雰囲気ができて、それが大きなプレッシャーになり、自信がない人は自分が悪いような気持ちになってしまうことがあります。反対に自信がありすぎる人は身の丈にあっていない目標でも実現できると考えてしまいます。

学校では、普段の生活の中で失敗をしてもチャレンジできることがたくさんあります。結果がなかなか出ないこともあります粘り強く取り組むことで、できることが増えてきたり、力をたくわえたりして、実力を付けられるチャンスがあります。壁は誰にでもあり、自信は人からつけてもらうものではなく、自分で築いていくものになります。土台のしっかりした自信をもつ可能性がある福中生に大きな希望をもちたいと思います。